

## お知らせ

## 平成24、25年度日本化学会会長選挙のWEB投票について

会務部門長 大倉 一郎

本会では、投票有資格者の会員による会長選挙を、平成18年度会長より実施しています。

これまでは郵送による投票のみで行っていましたが、すでにいくつかの学協会でWEB投票を実施しており、会員から投票をWEBで簡便に行いたいという意見が寄せられていること、また通信費の削減と集計作業の効率化が図れること等の理由により、平成24、25年度会長選挙よりWEBによる投票を実施いたします。

なお、原則としてWEBによる投票としますが、ご希望により従来の郵便による投票も受け付けます。

投票有資格者は、2011年1月1日現在の個人正会員、名誉会員、教育会員及び入会后2年以上経過の学生会員です。

今後の日程として、来年2月中旬にホームページ上に候補者の紹介記事と写真を掲載する予定です。これと平行して、化工誌と化教誌にも掲載いたします。

WEB投票並びに郵便投票の詳細については、その際にお知らせいたします。

## 日本化学会第91春季年会(2011)のお知らせ

第91春季年会実行委員会

会期	2011年3月26日(土)～29日(火)		
会場	神奈川大学横浜キャンパス(横浜市神奈川区六角橋3-27-1)		
実行委員長	西村 淳(群馬大学・名誉教授)		
内容	アカデミック・プログラム(AP:一般研究発表) (口頭・ポスター) アドバンスト・テクノロジー・プログラム(ATP) (口頭・ATPポスター) 特別講演・受賞講演・特別企画・展示会・表彰式・懇親会・市民公開講座 中長期テーマ・アジア国際シンポジウム・イブニングセッション・若い世代の特別講演・その他委員会企画		
重要な日程	講演申込期間	2010年11月16日～29日	
	予稿原稿提出期間	2011年1月7日～20日	
	参加予約期間	2011年2月1日～28日	詳細は本誌1月号
	プログラム公開	2011年2月21日(予定)	
	予稿集発行日	2011年3月11日(予定)	
問合せ先	日本化学会 企画部 年会係 〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5 電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318 E-mail: nenkai@chemistry.or.jp URL: <a href="http://www.csj.jp/nenkai/">http://www.csj.jp/nenkai/</a>		

本号では、①年会における各種講演賞、②ATPポスター発表の実施、③緊急企画の募集についてご案内いたします。

## 1 年会における各種講演賞のご案内

本年会では、「学生講演賞」・「優秀講演賞(学術)」・「優秀講演賞(産業)」の3種類の講演賞を設けて優れた講演を顕彰します。是非、奮ってご応募下さい。各賞の概要は以下のとおりです。

優秀講演賞(産業)については926ページに別途お知らせがありますのでそちらをご覧ください。

## 学生講演賞

対象者 博士後期課程の学生会員  
発表形式 口頭B講演  
対象部門 アカデミック・プログラム(AP)の全部門  
審査申込 不要(上記条件の全講演が審査対象)  
授与委員会 第91春季年会実行委員会

## 優秀講演賞(学術)

対象者 2011年4月1日時点で満36歳に達していない

正会員

発表形式 口頭B講演  
対象部門 アカデミック・プログラム(AP)の全部門  
審査申込 講演申込時に審査を希望する旨を申請して下さい。  
授与委員会 第91春季年会実行委員会  
優秀講演賞(産業)  
対象者 当該年会開催年の4月1日現在において満40歳に達していない講演発表者(所属は産学を問わない)。  
発表形式 口頭A講演・口頭B講演  
対象部門 12.高分子・15.材料化学・16.材料の機能・17.材料の応用・18.資源利用化学  
審査申込 講演申込時に審査を希望する旨を申請して下さい。

授与委員会 産学交流委員会

## NEW!! 2 ATP ポスター発表の実施のご案内

春季年会では2005年から、化学技術分野を中心とする研究発表を通じて広く産学官交流の促進を図る目的でアドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP) を実施しており、毎年様々な試みを行い、多くの方々に支えられてきました。

本年会では、産学官の交流を通じて研究のさらなる発展(共同研究への進展、研究の幅の広がり、研究内容の深化、等々)を希望する方々に、そのきっかけとなる出会いの場、熱く楽しい議論の場、ワクワクする夢を語れる場を提供することを目的として、これまでのポスター発表とは異なるATPポスター発表を実施いたします。

ATPポスター発表では、これまでのポスター発表では得られなかった次のようなプラスアルファの価値を提供します。①アカデミック・プログラムのポスターエリア横に用意されたATPポスター専用エリアでの掲示(3月27日～28日の2日間)に加えて、ATP交流会会場にも掲示して交流会前の発表も設定し、これまでより長時間の掲示・発表を行うことで、より多くの来場者と交流する機会が増えます。②ポスター掲示だけでなく発表内容に関する展示実演ができるようにし、来場者への強いアピールとより具体的なディスカッションを通して、一段と密接な交流を可能にします。

- ・ATPポスターエリアでの掲示:3月27日～28日の2日間
- ・ATP交流会会場での掲示:3月28日夕刻2時間(予定)
- ・展示実演を含む発表:3月27日～28日の両日とも各1回(計90分)

さらに、同じ発表内容で、口頭発表とATPポスター発表に重複して申し込むことが可能です。会員・非会員を問わず、趣旨に賛同する、意欲のある方々の積極的な参加を期待いたします。

なお、ATPポスター発表を含む、ATPに関する募集概要は以下のとおりです。本誌10月号の講演申込要項と併せてご覧下さい。

### ATP 講演募集概要

**申込期間** 2010年11月16日～11月29日

**申込方法** 春季年会ウェブサイト (<http://www.csj.jp/nenkai/>) 上の講演申込フォームからお申し込み下さい。

### 講演内容と講演者の条件

講演内容は未発表のものに限定せず、既発表のものや特許化・製品化済みの発表も可能です。活発なディスカッションのために、可能な限り具体的な化合物名や構造を明示して下さい。講演申込者及び講演者(登壇者)は日本化学会の個人会員に限りません。

### 発表形式と講演時間

口頭C講演 20分(講演15分・討論4分・交代1分)

口頭D講演 30分(講演25分・討論4分・交代1分)

ATPポスター 掲示:2日間(ポスター会場)、2時間(ATP

交流会会場)、発表45分×2回

※同じ発表内容で、口頭発表とATPポスター発表に重複して申し込むことが可能です。来場者への強いアピールと密接な交流ができますので、ATPポスターを活用下さい。

### 講演申込分類

T1. 微細パターン化技術の多様化—相克と共棲—

- A. 次世代リソグラフィ、B. ナノインプリント、C. 自己組織化による微細パターン形成

T2. ディスプレイ用材料の開発最前線

- A. OLED、B. 電子ペーパー

T3. 未来材料

- A. 次世代フォトニクス材料、B. 超分子素子を目指したプログラミング、C. バイオミメティック材料の新展開

T4. 未来を創る環境・資源テクノロジー

- A. 革新的省エネ・省資源プロセス、B. 資源を考慮した材料戦略、C. 多様化する炭素資源にどう対応するか

T5. 低炭素社会を実現する新エネルギー技術

- A. 次世代蓄電技術、B. 燃料電池・水素エネルギー技術、C. 次世代太陽光発電技術

T6. 未来志向の挑戦的バイオケミカルズ

- A. グリーンバイオ、B. フロンティアバイオ

## 3 「緊急企画」企画案募集について

第83春季年会(2003)より、中長期的戦略を視野に入れた特別企画とは別に、例えば高温超伝導の発見のように当該分野にパラダイムシフトをもたらすような重要な発見や技術展開、新たな研究動向、施策等に発した緊急の話題について、「緊急企画(Hot & What)セッション」を設置しております。これはホットな話題を中心に自由な発表・討議を行っていただくもので、真に緊急性があるもののみといたします。申込み時点では発表者、討議形式等の内容は未定で構いません。企画の採否については、春季年会実行委員会にて検討の上決定いたします。なお、セッションは2時間を限度とし、日時と場所は申込者の希望も参考にして実行委員会で決めさせていただきます。

年会プログラム(Web版)には「緊急企画」の行われる日時と場所を掲載し、企画プログラムの詳細はすべて春季年会ウェブサイト (<http://www.csj.jp/nenkai/>) 上で公開いたします。

**締切** 2011年1月28日(金)

### 応募方法

以下の事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

- (1) 企画タイトル(仮)、(2) 企画テーマの内容説明(約300字)、(3) 緊急性の説明及び話題が発生した時期、(4) 講演候補者氏名、所属と演題(未定でも可)、(5) 企画の討議形式(進め方は自由です)、(6) 企画応募者氏名及び連絡先(勤務先所在地、電話番号、FAX番号、E-mail)

### 応募先

日本化学会 企画部 年会係

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5

E-mail: [nenkai@chemistry.or.jp](mailto:nenkai@chemistry.or.jp) 電話(03)3292-6163

## 第91春季年会 (2011)「優秀講演賞 (産業)」 “CSJ Presentation Award 2009 for Industries” 受賞候補者の募集について

産学交流委員会  
委員長 高橋里美

日本化学会産学交流委員会では、平成20年度から「講演奨励賞」を「優秀講演賞 (産業)」と名称変更して表彰を行っております。来る平成23年3月26日 (土)～29日 (火)、神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1) で開催される標記年会においても、特に優れた講演に対し下記要領で「優秀講演賞 (産業)」を授賞いたしますので、奮ってご応募下さい。

選考の対象は、産学の研究者を問わず、産業の進歩に現在または将来にわたり寄与すると期待される基礎的または応用的な研究、いわゆる「目的基礎研究」に対して「産業的視点により」授賞するものです。

なお、本賞の応募には、講演申込時に「優秀講演賞 (産業)」の応募を希望する旨の申請が必要となりますのでご注意ください。

### ●選考対象部門：

12. 高分子, 15. 材料化学, 16. 材料の機能, 17. 材料の応用, 18. 資源利用化学の A 講演及び B 講演

### ●選考方法：

産学交流委員会委員及び委員から推薦され委嘱された選考委員が年会に出席・聴講し、座長の意見も参考にしつつ、産学交流委員会年会企画小委員会で選考、産学交流委員会幹事会で決定する。

### ●選考基準：

産業に対して現在または将来にわたり大いに寄与すると期待される基礎的または応用的な概念、アイデア、実験手法、実験結果などに関する優れた講演で、かつ今後、研究活動の一層の発展の可能性を有すると期待されるもの。

の。

### ●選考対象者：

当該年会開催年の4月1日現在において満40歳に達していない講演発表者 (所属は産学を問わない)。なお、過去の受賞経験者は、研究内容が全く異なる場合、あるいは基礎から応用・事業化へと開発ステージが上がるなど、研究の進展が顕著な場合に限り (あらかじめ連絡のこと)。

### ●授賞件数：各部門それぞれ20件に1件程度。

### ●賞状の授与：

日本化学会会長名の賞状を、年会終了後に日本化学会から送付するとともに、会誌「化学と工業」にテーマ、氏名、所属を発表する。